

第49回(2026年度)法政大学懸賞論文募集要項

法政大学懸賞論文は、本学学生のみなさんの研究活動を奨励し、論理的記述に関する能力の訓練・向上を図るとともに、優れた論文を広く社会に公表することを目的としており、今年で 49 回を数えます。論文は単なるレポートとは異なり、先行研究を十分に検討して書かなければいけないなど、いくつかの約束事を守ることが必要であり、これには日頃よりゼミ等で能力向上に努めるなど、継続的な努力が必要です。しかしながら論文の書き方を身につければ、自分が言いたいことを、説得力をもって相手に伝える力がつきます。

みなさんから独創性あふれる優れた論文が多く寄せられることを期待しています。

1. 応募資格:(1) 法政大学の学部、通信教育部に在籍の学生であること
(大学院生、科目等履修生を除く)
※2026年度秋学期も在籍予定であること
(2) 未発表の論文であること

応募は個人または共同のいずれでも可能です。ただし、他大学の学生や大学院生および本学の大学院生や卒業生など応募資格のない者との共同作成は不可です。

2. 提出受付期間:2026 年 9 月 24 日(木)～2026 年 10 月 1 日(木)

3. 論題:論題は自由です。各自の関心に基づき自由に設定してください。

4. 使用言語:日本語もしくは英語。

5. 提出方法:

- (1) 学部生:学習支援システムにて提出

提出方法については、別紙「懸賞論文提出操作マニュアル」を参照ください。

- (2) 通信教育部生:オンラインストレージサービス「Box」にて提出

提出を希望する方は、提出先のリンク情報を別途お伝えしますので、提出受付期間開始前までに懸賞論文事務局にメールで連絡をしてください。

※3 営業日以内を目安に提出用リンクを送付します。

送付先メールアドレス : gakumu@hosei.ac.jp

メール件名 : 第 49 回法政大学懸賞論文応募について

本文 : 本文には所属(学部・学科・学年)、学生証番号、氏名、連絡先(メールアドレス、電話番号)を明記してください。

6. 提出書類:

- (1) 提出書類:以下の①～⑤の書類を提出してください。

必要書類は大学ホームページから入手してください。

<https://www.hosei.ac.jp/campuslife/katsudo/kensho/>

- ① 第 49 回法政大学懸賞論文表紙 ファイル形式: (*.PDF)
- ② 論文要旨およびキーワード提出用シート ファイル形式: (*.PDF)
- ③ 論文本体(目次含む)

ファイル形式: ①Microsoft Office Word (*.doc,*.docx,*.docm)

②(*.PDF)

※2つのファイル形式とも提出のこと。

※図は MS Excel や MS Power point、その他画像ソフトなどで、数値や凡例などを含んで完全に完成させたものの全体を画像として保存し、これを本文中に貼り付ける。表はこの限りではない。

- ④ 教員による推薦書 ファイル形式: (*.PDF)
- ⑤ 懸賞論文提出表 ファイル形式: Microsoft Office Excel (*.xls,*.xlsx,*.xlsm)

(2) 提出ファイルおよびファイル名:

上記①から⑤の書類を提出する際は、ファイル名を以下の例と同様の名前でご提出ください(ファイル名に名前や学生証番号を付けないでください)。

- (例)・01.第 49 回法政大学懸賞論文表紙
・02.論文要旨およびキーワード提出用シート
・03.論文タイトル(提出する論文のタイトル名をファイル名としてください)
・04.教員による推薦書
・05.懸賞論文提出表

7. 教員による推薦と本審査・予備審査について

(1) 教員による推薦について

応募論文は原則として、提出前に教員による推薦を得たうえで、ご応募ください。また、懸賞論文提出表に推薦教員名を明記してください。

本学兼任教員を懸賞論文の推薦教員とすることは可能です。「ゼミに所属していないため指導教員がいない」、「通信教育部生のため、ゼミ等に所属しておらず指導教員がいない」等の理由で、やむを得ず「教員による推薦」を得ずに応募する場合は予備審査の対象となります。

(2) 審査について

全ての論文について、懸賞論文審査委員会が評価します。審査は「予備審査(該当論文のみ)」「本審査」の順で行います。なお、懸賞論文審査委員会が必要と判断した場合は、応募者に対して面接を行う可能性があります。

(3) 予備審査について

教員による推薦を得ていない論文については、論文の体裁不備や剽窃等を確認するため、懸賞論文審査委員会による予備審査を行います。なお予備審査は、募集要項および「論文の作成要領等について」に則り論文の体裁や形式を確認するためのものであり、論文の内容については予備審査通過後、本審査で評価します。

(4) 本審査について

審査員および懸賞論文審査委員会が個々の論文について評価します。

8. 結果発表について

審査結果は2027年2月中旬に本学ホームページで発表し、2月下旬に市ヶ谷キャンパスにおいて授賞式および祝賀会を行う予定です(詳細は入賞者にのみ連絡します)。

9. 賞および賞金について

応募論文が入賞あるいは入選した場合、賞状と以下の賞金が贈られます。

総 長 特 別 賞 :	30万円
最 優 秀 賞 :	20万円
優 秀 賞 :	15万円
入 選 :	5万円
佳 作 :	1万円

以上

《応募・提出についての質問・連絡先》

東京都千代田区富士見 2-17-1 法政大学市ヶ谷キャンパス 富士見ゲート2 階
法政大学懸賞論文事務局(学務部学務課)
TEL: 03-3264-9303/9317

法政大学懸賞論文作成要領

懸賞論文審査委員会

法政大学懸賞論文では、応募する懸賞論文の体裁について決めています。決められた体裁に沿っていない論文は、査読対象になりませんので、よく確認をしてください。

【執筆にあたって】

1. 執筆にあたって

早めに準備に着手し、書き直しをしてください。

- (1) 一般に、書き下ろしで良い完成稿をつくることは極めて困難です。第一次草稿→第二次草稿→(以下省略)→完成稿というように幾度も書き直して、できるだけ推敲を重ねると良いでしょう。
- (2) そのためには、早めに準備に着手し、書き直しをする時間的余裕を作るように工夫してください。時間切れのため、後半部分が展開不足となり惜しまれる論文が多くあります。
論文を書く準備として、平日頃から「読書ノート(あるいはカード)」と「自分の考え・発想を記すノート(あるいはカード)」という二系列のノートを蓄積しておくとい良いでしょう。
知識と発想の組織的蓄積なしには、良い論文を書くことはできません。

2. 問題設定・先行研究

論文の冒頭部分で問題設定を明確に行い、先行研究を参照してください。

- (1) 論文である以上、通常スタイルとしては、その冒頭部分(序、はじめに、第一章、序論、プロローグ等)に、なぜこういう問題意識をもったのか、その理由あるいは自分の動機を書くことが適切です。
- (2) 論文全体がその問いに支えられ、全篇を通して、一貫性のある論理展開がなされ論述されるべきです。問題設定が不明確なままでは、何を主張したいのかが読者に正確に伝わりません。
- (3) 関連する先行研究を十分に調べることは論文執筆の基本です。既存研究で何がどこまでわかっており、あなたはこの研究の中で何をどこまで明らかにするのか。文献サーベイを通して、先行研究を踏まえた課題設定が重要です。

3. 末尾

論文の末尾部分(結論、結び、終わりに、終章、まとめ、エピローグ等)において、冒頭の「問題」に対応する「まとめ」を書くべきです。「序」と「結論」とは、呼吸が合っていなければなりません。

【論文について】

1. 言語

日本語もしくは英語

2. 字数と文字サイズ、書式

原稿は横書きで作成のこと。

日本語の場合（A4）：24,000 字以内／10.5 ポイント／40 字×40 行

英語の場合（A4）：8,000 語以内／Times New Roman 12 ポイント／29 行（=行間 24 ポイント）

- ・ 字数を超過した場合は失格となり、審査対象となりません。
- ・ 目次・註・文献は文字数に含みます。
- ・ 表紙、図・表に使われているテキストは字数・文字数カウントから除きます。

（１）行数と文字数の設定

日本語の場合は、A4 用紙に横書きで 1 ページあたり 40 行に設定し、1 行あたりの文字数を 40 字に設定してください。ワープロソフトの場合、1 行の文字数を 40 字に設定していても、半角・全角文字の混在、カーニング・ぶら下げの設定、使用するフォントの種類などによって、厳密に 40 字にならないことがあります。ある程度の逸脱は認めます。縦書き、段組みは認めません。縦書き、段組みをしている場合は査読対象としません。

英語の場合は、A4 用紙に横書きで 1 ページあたり 29 行（行間 24 ポイント）に設定してください。段組みは認めません。段組みをしている場合は査読対象としません。

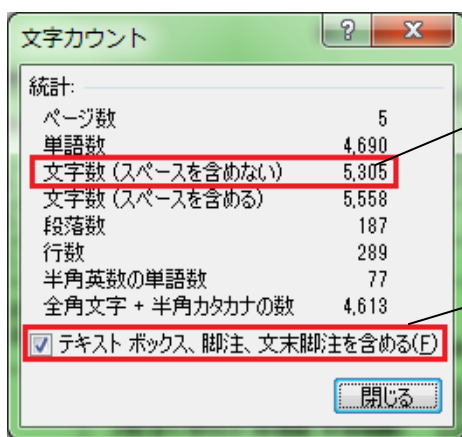
（２）原稿の字数制限と文字数確認方法について

日本語の場合は合計 24,000 字以内、英語の場合は 8,000 語以内と定めています。

文字数の確認は以下の方法を用いてください。あらかじめ図・表を除いた原稿を準備し、Word の「文字カウント」機能でカウントを行い、「テキストボックス、脚注、文末脚注を含める」に✓を入れてカウントしてください（図①）。

日本語の場合は、「文字数（スペースを含めない）」の箇所を参照してください（図②）

（英語の場合は、「単語数」を参照のこと）。



②文字数はここを参照。

※英語の場合は、「単語数」を参照。

①テキストボックス、脚注、文末脚注
を含めるに✓を入れる

3. 図・表の数について

図・表の数は合計 20 点までとします（統計ソフトから出力した図・表を添付した場合も、すべて 1 点ずつ数えて合計に含めます）。

4. 目次とページ付け

目次ページを 1 ページ目として、目次・本文にページ付けをしてください。

ページ付けしていなかったり、ページ開始位置に誤りがあったりする論文がありますので、注意してください。

5. 注について

注には番号をふり、章末あるいは全体の末尾にまとめて記入、あるいはページ毎に脚注として記入してください。

6. 論文作成における資料の引用・転載について

他の著作物や製作物の記載を引用・転載する場合、規則を守らなければ剽窃行為として著作権法違反に問われます。法政大学でも剽窃行為を固く禁じています。

引用には、1) 直接引用、2) 間接引用、3) パラフレーズ（言い換え）の3種類があります。いずれの場合も本文中に引用部分を明示し、その部分に番号を振るなどして文献リストや脚注などの番号と一致対応させ、出典がわかるように記載してください。

他の著作物に掲載されている図や表、写真を自分の論文に用いる場合は転載として扱います。事前にその著作権者から転載利用の許諾を得てください。これらを改変して用いる場合も改変について許諾を得てください。また許諾を得たことを必ず図・表に併記してください。

引用・転載に関する規則や記載方法の詳細について、下記のリンクを必ず参照してから論文を執筆してください。

https://www.hosei.ac.jp/application/files/9317/8365/6267/inyou_tensai.pdf

7. 参考文献

(1) 文献リストについて

図書については、著者名、編者名、翻訳者名、書名を、雑誌論文については、論文名、掲載誌名、発行年、出版社名等を明記すること。特にインターネット上の資料を掲載する場合には出典が明確でない場合があるので、URL およびアクセス年月日も付してください。

(2) インターネット上の資料について

インターネット上にある資料でも、書籍や雑誌、報告書など印刷媒体がある場合は、印刷媒体を優先してください。

8. 校閲履歴

原稿、特に表紙にワープロソフトで設定した校閲履歴が残っている原稿があります。校閲履歴はすべて削除して提出してください。

9. 剽窃

剽窃（ひょうせつ。他人の文章などの字句または説を、ことわりもなく盗んで自分のものとして発表すること。）は許されない行為であり、学生の本分に著しく反する行為です。インターネットや書籍だけでなく、ゼミ等で共有されている研究成果等も、出典を明示しないなど不適切な形で、自らの論文に記載して提出した場合は剽窃とみなされる可能性があります。剽窃とみなされる箇所がある場合は失格となります。また、剽窃が発覚した際には、所属学部へ通知する場合があります。なお、受賞後でも遡及して受賞を取り消すほか、何らかの処分の対象となる可能性があります。引用文献等

がある場合、注や文献リストを用いて適切な書式で明記してください。

10. 二重投稿・再投稿について

既発表の論文や学内外に限らず学会等に投稿中の論文と同一内容もしくは極めて類似した論文を提出した場合は、「二重投稿」とみなされる可能性があります。また、過去に法政大学懸賞論文に応募した論文に、発展的な内容を新たに追記せず、再度懸賞論文に応募する行為は「再投稿」とみなされる可能性があります。法政大学懸賞論文では、二重投稿や再投稿とみなされた論文は、審査対象外とする場合があります。

(1) 卒業論文の法政大学懸賞論文への投稿について

法政大学懸賞論文審査委員会は、本学における卒業論文に限り、その研究を法政大学懸賞論文として投稿したものを受理し、審査します。ただしそのことがわかるように、論文内に以下のように明記してください。

- ① 本文1 ページ目の脚注部分に、以下の【記載例】を参考にして適切に明記する
- ② 卒業論文を参考文献として記載する

【記載例】

本文1 ページ目の脚注部分に

本研究は法政大学〇〇学部の卒業研究¹⁾をもとに執筆した。

参考文献欄などに

- 1) 法政太郎, 「-----論題-----」, 20XX 年法政大学〇〇学部卒業論文。

なお、卒業論文の研究を法政大学懸賞論文に投稿することを検討している方は、その可否について、事前に必ず所属学部、指導教員に相談し、その方針・指示に従うようにしてください。所属学部や指導教員の許可を得ずに卒業論文の研究を懸賞論文に投稿し、学部内における卒業論文の評価に影響することがあっても、法政大学懸賞論文審査委員会は責任を持ちません。

11. 調査

人を対象とした調査に基づく論文は、量的調査、質的調査にかかわらず以下の項目を明記してください。

- (1) 個人で実施した調査か、ゼミ等で実施した調査に参加したものか。
- (2) 調査の実施年月日、場所、対象者数、回収率、方法（面接法、郵送法等）。
- (3) 質問紙調査であれば調査票、半構造化面接調査であれば質問項目など、内容が理解できる資料を必ず添えること。

12. 研究対象者への倫理的配慮について

- (1) 懸賞論文に投稿する論文に関連して行う調査・研究が「人を対象とする研究」※に該当し、個人または複数の人から調査・研究への参加を得ることが必要な場合、本学指定様式である「研究計画書」を作成し、調査・研究を開始する前に推薦教員（指導教員）に提出を行い、推薦教員（指導教員）の承認を得たうえで調査・研究を行ってください。既に調査・研究を開始している場合は、直ちに「研究計画書」を作成し、推薦教員（指導教員）の承認を得てください。

推薦教員（指導教員）がいない場合は、懸賞論文審査委員会にて「研究計画書」の確認を行いますので、7月末までに以下の Google フォームより「研究計画書」を提出してください。

（提出先フォーム）

<https://forms.gle/V3MFh1afn9Gbaf2S6>

※「人を対象とする研究」とは、自然科学分野のみならず人文科学分野、社会科学分野すべてを含む臨床・臨地的調査及び実験をいい、個人又は集団を対象に、その行動、心身若しくは環境等に関する情報又はデータ等を収集・採取する作業を含みます。

詳細については、以下の規程よりご確認ください。

「法政大学『人を対象とする研究倫理』規程」

https://www.hosei.ac.jp/application/files/6415/7492/5821/hito_kenkyurirnr_kitei.pdf

※実施する調査・研究について、既に独自に作成した計画書で推薦教員（指導教員）の承認を得ている場合は、本学指定様式の「研究計画書（Ⅰ. 研究計画の概要 1～7）」の項目がすべて網羅されている場合、「研究計画書」の提出に代えることができます。

※実施する調査・研究が既に各所属学部等の倫理委員会にて承認されている場合は、審査の際に提出した資料一式と審査結果通知書を推薦教員（指導教員）へ提出し、確認を得ることにより、本学指定様式の「研究計画書」の提出に代えることができます。推薦教員（指導教員）がいない場合は、「研究計画書」と同様、懸賞論文審査委員会にて確認を行いますので、「研究計画書」の提出フォームと同じ、上記フォームよりご提出ください。

- (2) 研究対象者への同意取得の方法は、文書によるもの、口頭によるものの二通りありますが、それぞれが所属する学部、専門分野、学会指針、指導教員・推薦教員の指示などに従って適切な方法を選択してください。懸賞論文審査委員会ではその方法について特定して指示をしません。なお、「研究実施に関する同意書」のサンプルをHPに掲載していますので、文書により同意を得る場合については、参考にしてください。

また、研究の特性や対象データの性質上、「オプトアウト（研究対象者から直接同意は得ないものの、研究に関する情報を通知又は公開し、拒否の機会を保障する方法）」方式を用いる場合についても、所属する学部、専門分野、学会指針、指導教員・推薦教員の指示などに従い、適切な手続き（ウェブサイト等への情報公開、問い合わせ窓口の設置など）を行ってください。

- (3) 投稿する論文に、上記の同意取得手続きについての必要十分な情報を記載してください。オプトアウト方式を採用した場合も同様に、その旨と具体的な周知・拒否の機会の保障方法について必ず論文内に明記してください。
- (4) 研究対象者への倫理的な配慮が必要な調査・研究を実施している論文において、その手続きが記載されていないもの、「研究計画書」によって事前に推薦教員（指導教員）又は懸賞論文審査委員会に調査・研究実施の承認を得ていないもの、ならびに各所属の倫理委員会にて承認されている場合であっても、審査資料一式および審査結果通知書を推薦教員（指導教員）又は懸賞論文審査委員会に提出し確認を得ていないものについては、受理しません。

「法政大学研究倫理規程」

https://www.hosei.ac.jp/application/files/2017/8270/6652/kensyo_regulations.pdf

1 3. 生成 AI について

生成 AI ツールについては、本学の「生成 AI ツールに対する基本的考え方」を踏まえ、所属学部や指導教員の指示に従い、取り扱いには十分に注意してください。

「生成AIツールに対する基本的考え方」

https://www.hoseikyoiku.jp/lf/back_news/view.php?c=topics_view&pk=1687401621

【表紙について】

表紙は指定のものを使用し、論文内に論文タイトル、学生証番号、氏名は記載しないでください。
また、表紙と提出表の共同者人数が違う原稿や、表紙と推薦書の論題が異なる原稿があります。注意してください。

【論文要旨およびキーワード提出用シートについて】

指定のものを使用してください。

(1) 字数

論文要旨は課題の設定、分析方法、論旨の展開、そして得られた結論を 600 字（40 字×15 行）程度に、明確にまとめてください。査読者に自分の論文の意義をアピールするためには極めて重要です。

(2) キーワード個数

キーワードは 2～3 個記載してください。キーワードの記載がない、キーワードの個数に過不足がある原稿があります。「懸賞論文提出書類チェックリスト」にある記載方法をよく確認してください。

【懸賞論文提出表について】

指定のものを使用してください。

字数の確認方法については、「【論文について】2. (2) 原稿の字数制限と文字数確認方法について」を確認してください。

【その他】

1. 論文の書き方推薦図書

論文の書き方について解説している本は多数ありますが、いくつかご紹介いたします。なお、本学図書館の HP の「法政大学蔵書検索システム OPAC)」や「パスファインダー（テーマ別探し方ガイド)」なども活用されると良いでしょう。

酒井聡樹（2017）『これからレポート・卒論を書く若者のために（第 2 版）』共立出版

井下千以子（2019）『思考を鍛えるレポート・論文作成法（第 3 版）』慶應義塾大学出版会

新田誠吾（2019）『はじめてでも、ふたたびでも、これならできる！ レポート・論文のまとめ方』
すばる舎

佐渡島紗織ほか（2020）『レポート・論文をさらによくする「引用」ガイド』大修館書店

戸田山和久（2022）『新版 論文の教室：レポートから卒論まで』NHK ブックス

佐渡島紗織ほか（2022）『課題に応える 卒論に活かせる 大学生のためのレポートの書き方』ナツメ社

石黒圭（2024）『新版 論文・レポートの基本：この 1 冊できちんと書ける！』日本実業出版社
American Psychological Association. (2020). *Publication manual of the American Psychological Association: The official guide to APA style* (7th ed.).

2. その他

- （1）本文中には「謝辞」は書かないでください。ただし、応募論文が入賞し、本学 HP 等に掲載することになった際は、謝辞の追記を認めます。
- （2）応募論文の著作権は大学に帰属し、本人への返却は行いません。また、応募論文は、大学の個人情報保護規程に基づいて取り扱われます。
- （3）応募にあたり提出された個人情報は、法政大学懸賞論文の応募・審査等に関わる目的以外に使用することはありません。なお、応募論文が入賞あるいは入選した場合、応募代表者および共同作成者の学部学科・学年・氏名(フルネーム)・顔写真・論題・キーワードについて、本学 HP や Web 掲示板・大学が発行する印刷物等で公表することがあります。
- （4）提出された論文等に不備等があった場合、懸賞論文事務局から応募代表者の方に電話（03-3264-9303/9317）でご連絡することがあります。
- （5）過去に、提出された論文が懸賞論文募集要項に則っておらず、審査対象外となったことがあります。
- （6）提出後の修正や差し替えは一切認められません。

以上

第 49 回 法 政 大 学 懸 賞 論 文 表 紙

論 題

応募(代表)者 (氏名の記入は不要)

学 部 ・ 学 科

学 年

共同作成人数(いずれかに✓および人数を記入してください)

☐ 応募代表者を除き _____ 名 ☐ 応募代表者のみ

【応募（代表）者確認欄】

提出前に別紙チェックリストに従い提出書類に不備がないか確認後、
応募（代表）者は、以下の□に✓を記入すること。

私は、以下の 5 点の書類を提出します。

※ゼミに所属していない等の場合には、④教員による推薦書を除く 4 点の書類

- ☐ ①第 49 回法政大学懸賞論文表紙 ファイル形式: (*.PDF)
- ☐ ②論文要旨およびキーワード提出用シート ファイル形式: (*.PDF)
- ☐ ③論文本体(目次含む) 以下の2つのファイル形式を提出のこと
ファイル形式 ①Microsoft Office Word (*.doc,*.docx,*.docm)
②(*.PDF)
- ☐ ④教員による推薦書 ファイル形式: (*.PDF)
- ☐ ⑤懸賞論文提出表 ファイル形式: Microsoft Office Excel (*.xls,*.xlsx,*.xlsm)

提出期間 2026年9月24日(木)～ 10月1日(木)(厳守)
【学部生】学習支援システム:23:59 / 【通信教育部生】Box:23:59

論文要旨およびキーワード提出用シート

＜作成にあたって＞

- ・キーワードの記入を忘れないようにしてください。キーワード数は2～3個に絞ってください。
- ・課題の設定、分析方法、論旨の展開、そして得られた結論を600字（40字×15行）程度に、明確にまとめてください。

1. キーワード ※記入必須。キーワード数は2～3個に絞ること。

（記入例）失業率、高齢化、統計調査

《以下に記入してください》

2. 論文要旨 ※記入必須。課題の設定、分析方法、論旨の展開、そして得られた結論を600字（40字×15行）程度に、明確にまとめること。

《以下に記入してください》

第 49 回（2026 年度）法政大学懸賞論文 教員による推薦書

法政大学懸賞論文推薦教員各位

学生の応募論文を推薦される際、以下の項目をご確認ください。教員確認欄にチェックを入れていただき、日付、氏名をご記入ください。

論題			
応募（代表）者			
学生証番号		学生氏名	

チェック項目	教員確認欄
上記は未発表の論文ですか。 （二重投稿は勿論、再投稿とみなされる論文は審査対象外となる場合があります。）	確認 ☐
社会的倫理に基づいた研究がなされていますか。	確認 ☐
論文の字数・語数は守られていますか。 日本語（A4）：24,000 字以内／10.5 ポイント／40 字×40 行 英語（A4）：8,000 語以内／Times New Roman 12 ポイント／29 行 ※目次・註・文献を含む ※表紙、図・表に使われているテキストは字数に含まない	確認 ☐
図・表の数は合計 20 点以内ですか。 （統計ソフトから出力した図・表を添付した場合もすべて 1 点ずつ数えて合計に含む）	確認 ☐
目次ページを 1 ページ目として、目次・本文にページ付けをしていますか。	確認 ☐
論文に相応しい論理展開がなされていますか。 また、然るべき書式に準拠して記述されていますか。	確認 ☐
先行文献への十分な言及がありますか。	確認 ☐
資料の引用や転載について、規則や記載方法を確認していますか。	確認 ☐
論文に剽窃が疑われる箇所はありませんか。 参考：Turnitin へのアクセス https://www.hoseikyoiku.jp/lf/project/view.php?c=topics_view&pk=1522628924	確認 ☐
論文の内容が、「人を対象とする研究」※に該当しますか。 ※「人を対象とする研究」とは、自然科学分野のみならず人文科学分野、社会科学分野すべてを含む臨床・臨地的調査及び実験をいい、個人又は集団を対象に、その行動、心身若しくは環境等に関する情報又はデータ等を収集・採取する作業を含みます。	該当する ☐ 該当しない ☐
上記に該当する場合、 以下のいずれかの方法により調査・研究の承認を行いましたか。 ・本学指定様式の「研究計画書」を確認し、調査・研究実施の承認を行った。 ・本学指定様式ではないが、それに類する計画書にて、調査・研究実施の承認を行った。 （次のページに続く）	確認 ☐

※本学指定様式の「研究計画書（Ⅰ．研究計画の概要 1～7）」の項目がすべて網羅されていれば、独自に作成した書式でも代替可としています。 ・既に所属の倫理委員会にて調査・研究の承認がされていたため、審査の際に提出した資料一式と審査結果通知書を受け取り、確認を行った。	
（総合判断）懸賞論文への応募を推薦しますか。	確認 ☐

日付：2026 年____月____日

推薦教員：所属学部・学科 _____

氏名 _____

提出前に提出書類に不備がないか、このチェックリストを利用して確認してください

— このチェックリストは、提出は不要です —

懸賞論文提出書類 チェックリスト

応募論文について、以下の項目を満たしているか確認のうえ✓をつけてください。
所定の条件、論文としての体裁を満たしていない場合、失格となることがあります。
必ず募集要項等に目を通し、不備のないよう注意してください。

- ☐ 「論文要旨およびキーワード提出用シート」は添付してありますか。
- ☐ キーワードは2～3個記入してありますか。（記入必須）
- ☐ 目次ページはありますか。
- ☐ 目次ページを1ページ目とし、目次・本文に頁付けをしてありますか。
- ☐ 文献のリストはついていますか。
 - ・文献リストには、著者名、編者名、翻訳者名、書名あるいは論文名、掲載誌名、発行年、出版社名等を、明記すること。特にインターネット上の資料を掲載する場合には出典が明確でない場合があるので、URL およびアクセス年月日も付記すること。
 - ・インターネット上にある資料でも、書籍や雑誌、報告書など印刷媒体がある場合は、印刷媒体を優先すること。
- ☐ 参考・引用した全ての資料について、出典を明記してありますか。
- ☐ 注は番号をふり、章末あるいは全体の末尾にまとめて記入、あるいはページ毎に脚注として記入してありますか。
（なお引用注については、引用箇所のページ数も必ず入れること）
- ☐ 論文字数・語数は守られていますか。
 - 日本語の場合(A4)：24,000字以内／10.5ポイント／40字×40行
 - 英語の場合(A4)：8,000語以内／Times New Roman 12ポイント／29行（=行間24ポイント）
 - ※目次・註・文献は字数に含みます。
 - ※表紙、図・表に使われているテキストは字数・文字数カウントから除きます。
- ☐ 図・表の数は合計20点以内ですか。
 - （統計ソフトから出力した図・表を添付した場合も、すべて1点ずつ数えて合計に含めます）
- ☐ 誤字脱字はありませんか。
- ☐ 教員による推薦は得ましたか。（教員による推薦を得ていない論文は予備審査の対象となります）
- ☐ (上記にチェックを付けた場合)教員による推薦書を添付していますか。
- ☐ 剽窃について理解し、他の論文や文献、インターネット等の情報を活用した場合、論文内に適切な明記をしていますか。
- ☐ 論文の内容が「人を対象とする研究」に該当しますか。
- ☐ (上記にチェックを付けた場合)以下のいずれかの方法により、研究開始前に推薦教員（指導教員）に承認を得ましたか。
 - ・本学指定の「研究計画書」を提出し、調査・研究実施の承認を得た。
 - ・本学指定様式ではないが、それに類する計画書にて、調査・研究実施の承認を得た。
 - ※本学指定様式の「研究計画書（Ⅰ．研究計画の概要 1～7）」の項目がすべて網羅されている必要があります。
 - ・既に所属の倫理委員会にて調査・研究実施が承認されている場合は、審査の際に提出した資料一式と審査結果通知書を提出し、承認を得た。

※【記入例】も参照すること

第49回(2026年度)法政大学懸賞論文提出表

論 題						
文字数			図・表の数			
ゼミ担当教員氏名			推薦教員氏名 ※欄外の注を確認すること			
応募代表者						
学部	学科	学年	学生証番号			
フリガナ						
氏 名						
共同作成者						
共同作成者数:			名			
1	学部	学科	学年	学生証番号	氏名	共同作成の内容
2	学部	学科	学年	学生証番号	氏名	共同作成の内容
3	学部	学科	学年	学生証番号	氏名	共同作成の内容
4	学部	学科	学年	学生証番号	氏名	共同作成の内容
5	学部	学科	学年	学生証番号	氏名	共同作成の内容
6	学部	学科	学年	学生証番号	氏名	共同作成の内容
7	学部	学科	学年	学生証番号	氏名	共同作成の内容
8	学部	学科	学年	学生証番号	氏名	共同作成の内容
9	学部	学科	学年	学生証番号	氏名	共同作成の内容
10	学部	学科	学年	学生証番号	氏名	共同作成の内容

※「ゼミに所属していないため指導教員がいない」、
「通信教育部生のため、ゼミ等に所属しておらず指導
教員がいない」等の理由で、やむを得ず「教員による
推薦」を得ずに応募する場合は「なし」と記入してくだ
さい。

<<記入例>>

懸賞論文募集要項「字数・文字サイズ」に記載されている「**字数のカウント方法**について」(p.1)を確認のうえ、入力してください。

フルネームを記入してください。

応募代表者を**含まない**人数を入力してください。

第49回(2026年度)法政大学懸賞論文提出表						
論 題	● ● ● ● ●					
文字数	18653字		図・表の数		12	
ゼミ担当教員氏名	● ● ●		推薦教員氏名 ※欄外の注を確認すること		● ● ●	
応募代表者						
学部	学科	学年	学生証番号			
法	法律	3	23A1234			
フリガナ	○○ ○○					
氏 名	○○ ○○					
共同作成者						
共同作成者数:		2 名				
1	学部	学科	学年	学生証番号	氏名	共同作成の内容
	法	政治	2	24A1234	△△ △△	調査(統計)
2	学部	学科	学年	学生証番号	氏名	共同作成の内容
	法	国際政治	3	23A5678	△△ △△	分担執筆(担当箇所)
3	学部	学科	学年	学生証番号	氏名	共同作成の内容
					△△ △△	
4	学部	学科	学年	学生証番号	氏名	共同作成の内容
					△△ △△	
5	学部	学科	学年	学生証番号	氏名	共同作成の内容
					△△ △△	
6	学部	学科	学年	学生証番号	氏名	共同作成の内容
					△△ △△	
7	学部	学科	学年	学生証番号	氏名	共同作成の内容
					△△ △△	
8	学部	学科	学年	学生証番号	氏名	共同作成の内容
					△△ △△	
9	学部	学科	学年	学生証番号	氏名	共同作成の内容
					△△ △△	
10	学部	学科	学年	学生証番号	氏名	共同作成の内容
					△△ △△	

※「ゼミに所属していないため指導教員がいない」、「通信教育部生のため、ゼミ等に所属しておらず指導教員がいない」等の理由で、やむを得ず「教員による推薦」を得ずに応募する場合は「**なし**」と記入してください。

学習支援システム（Web Class）懸賞論文提出操作マニュアル

【1】学習支援システム（Web Class）にログイン

<https://hoppii2025.hosei.ac.jp>

上記 URL から hoppii のウェブページを開き、ログインします。

ログイン

下記「全学ネットワークシステム 統合認証」の画面が表示されますので、ユーザ ID（学生証番号）／パスワードを入力し、「ログイン」ボタンを選択します。

ログインに成功すると hoppii の画面が表示されますので、上部に表示される「時間割（仮登録はこちら）」をクリックする。

【2】懸賞論文の授業仮登録を行う

① 「2026 年度 春学期」を指定し、「授業の仮登録」をクリック

② 授業コード「260526053」で検索をし、登録する。

懸賞論文の授業仮登録は、その後、情報システムからの本登録等の必要はありません。

【3】懸賞論文を提出する

③ 自己登録した「2026 年度懸賞論文応募」のタブをクリック。

集中・その他

④ 「開始」をクリック。

⑤ 設問1 から6までに対応するファイルを提出する。

⑥ 提出完了後、マイレポートから論文が提出されていることを確認してください。

以上

推薦教員（指導教員）

先生

研究計画書

申請者 ○○学部○○学科○年

学生証番号：

氏名：

I. 研究計画の概要

年 月 日 提出

1. 研究課題名：
2. 研究申請者：
3. 研究目的
4. 調査・研究の方法（別紙添付可）
5. 研究対象者に対する配慮の概要
6. プライバシー、個人情報保護についての配慮の概要
7. 研究成果の発表方法及び研究対象者への開示
備考

II. 「人を対象とする研究」について

- ・「人を対象とする研究」とは、自然科学分野のみならず人文科学分野、社会科学分野すべてを含む臨床・臨地的調査及び実験をいい、個人又は集団を対象に、その行動、心身若しくは環境等に関する情報又はデータ等を収集・採取する作業を含む。

III. 実施する調査・研究が侵襲・介入を伴う場合について

第 49 回（2026 年度）法政大学懸賞論文「研究計画書」

侵襲・介入を伴う調査・研究を実施する場合には、上記の「研究計画の概要」に加え、指導教員に具体的な内容と対応策について説明を行い、調査・研究実施の承認を得てください。

- ・侵襲とは

研究目的で行われる、穿刺、切開、薬物投与、放射線照射、心的外傷に触れる質問等によって、研究対象者の身体又は精神に傷害又は負担が生じることをいう。

- ・介入とは

研究目的で、人の健康に関する様々な事象に影響を与える要因（健康の保持増進につながる行動及び医療における傷病の予防、診断又は治療のための投薬、検査等を含む。）の有無又は程度を制御する行為(通常の診療を超える医療行為であって、研究目的で実施するものを含む。)をいう。

【注意事項】

- ・本研究計画書は、「人を対象とする研究」を実施する場合（アンケート等）に作成が必要となります。調査・研究開始前に推薦教員（指導教員）に提出を行い、調査・研究実施の承認を得てください。既に調査・研究を開始している場合は、直ちに本研究計画書を作成し、推薦教員（指導教員）の承認を得てください。

推薦教員（指導教員）がいない場合は、懸賞論文審査委員会にて確認を行いますので、7月末までに以下の Google フォームより本申請書をご提出ください。

（提出先フォーム）

<https://forms.gle/V3MFh1afn9Gbaf2S6>

推薦教員（指導教員）

先生

研究計画書

申請者 ○○学部○○学科○年

学生証番号：

氏名：

I. 研究計画の概要

年 月 日 提出

1. 研究課題名：
2. 研究申請者： 共同研究者を含めた、全員のフルネームと所属学部・学科、学年、学生証番号（所属以降はカッコ書き）を明記すること。
3. 研究目的 研究の目的を明記すること。また、通常の研究の目的に加え、データとして取得する情報が倫理上の配慮を必要とする場合（年齢・性別・所属学部・学科以外の個人情報取得する場合）には、その情報をなぜ取得する必要があるのかを具体的に明記すること。
4. 調査・研究の方法（別紙添付可） ・調査・研究の方法（研究対象者、実施場所、収集するデータ等の項目及び収集方法等）をわかりやすく記載すること。また、研究の特性や対象データの性質上、「オプトアウト（研究対象者から直接同意は得ないものの、研究に関する情報を通知又は公開し、拒否の機会を保障する方法）」を用いる場合についても、調査・研究の方法（情報の公開媒体、周知方法、拒否の受付窓口および手続き等）を具体的に記載すること。 ・実施する調査・研究に倫理的な問題がないことを確認できるように、十分な情報を添えて申請すること。 ・倫理上の配慮が必要な情報を集める場合には、それらの情報をどのように分析に用いるのか、分析方針や予定している分析方法も明記すること。
5. 研究対象者に対する配慮の概要 ・研究対象者への説明内容、研究対象者に生じる不利益及び危険性に対する配慮内容及び同意取得の方法を記載すること。 ・研究対象者に対しては、研究・調査への協力は完全に任意であること、断っても不利益は生じないこと、いったん研究・調査を開始した後でも同意を撤回できることを説明すること。
6. プライバシー、個人情報保護についての配慮の概要 ・研究成果の公表時には、個人が特定されない形でデータを取り扱うこと。 ・収集するデータの使用目的や保存、保管、廃棄方法は、予め定めること。 ・研究及び調査手続きについて疑義が生じた場合には、それに対して明確な回答ができるよう、研究成果の公開後一定期間は、調査・研究の同意書やデータは保管しておくこと。 ・廃棄にあたっては、研究対象者の氏名等が流出しないように配慮すること。 ・調査・研究によって回収したデータについては、研究データと切り離して保管する旨を協力者に

伝えること（インターネットによるデータ収集においても、調査・研究の同意と回収されたデータの紐付けは、データに新たな ID を付すなどしてその関連が明らかにならないよう配慮すること。またその場合は、その方法を明記すること）。
7. 研究成果の発表方法及び研究対象者への開示 ・研究対象者には、研究成果の発表方法を説明すること。 ・希望する研究対象者には研究成果を開示すること。「論文を公表することで開示する」は不可とする。
備考 原則として、調査・研究の同意は事前に調査・研究対象者本人から得ることとする。この原則に則ることのできない場合には、その理由および保護者や法律上の権限を有する代理人から同意を得る具体的な手続きについて備考欄に記すこと。

II. 「人を対象とする研究」について

- ・「人を対象とする研究」とは、自然科学分野のみならず人文科学分野、社会科学分野すべてを含む臨床・臨地的調査及び実験をいい、個人又は集団を対象に、その行動、心身若しくは環境等に関する情報又はデータ等を収集・採取する作業を含む。

III. 実施する調査・研究が侵襲・介入を伴う場合について

侵襲・介入を伴う調査・研究を実施する場合については、上記の「研究計画の概要」に加え、指導教員に具体的な内容と対応策について説明を行い、調査・研究実施の承認を得てください。

・侵襲とは

研究目的で行われる、穿刺、切開、薬物投与、放射線照射、心的外傷に触れる質問等によって、研究対象者の身体又は精神に傷害又は負担が生じることをいう。

・介入とは

研究目的で、人の健康に関する様々な事象に影響を与える要因（健康の保持増進につながる行動及び医療における傷病の予防、診断又は治療のための投薬、検査等を含む。）の有無又は程度を制御する行為(通常の診療を超える医療行為であって、研究目的で実施するものを含む。)をいう。

【留意事項】

- ・本研究計画書は、「人を対象とする研究」を実施する場合（アンケート等）に作成が必要となります。調査・研究開始前に推薦教員（指導教員）に提出を行い、調査・研究実施の承認を得てください。既に調査・研究を開始している場合は、直ちに本研究計画書を作成し、推薦教員（指導教員）の承認を得てください。
 - 推薦教員（指導教員）がいない場合は、懸賞論文審査委員会にて確認を行いますので、7 月末までに以下の Google フォームより本申請書をご提出ください。
- （提出先フォーム）

<https://forms.gle/V3MFh1afn9Gbaf2S6>

第 49 回（2026 年度）法政大学懸賞論文「研究実施に関する同意書」

研究実施に関する同意書

（「〇〇」に関する研究へのご協力依頼）

本研究は、法政大学〇〇学部〇〇学科に所属する「氏名」の「第 49 回(2026 年度)法政大学懸賞論文」のための研究として行われるものであり、研究課題は「〇〇」です。研究内容に同意いただけた場合に、本研究課題に関する「アンケートへの回答／インタビュー調査等」にご参加いただくこととなります。所要時間は約「〇〇」分です。

回答の内容がご協力者様のプライバシーに及ばぬよう、またご質問内容がご不快にならぬよう、十分に配慮して実施しますが、それでもご回答の際に心理的負担を感じる質問が含まれる可能性がございます。本研究へのご参加は、任意となります。調査へのご協力を辞退されても、不利益を受けることは一切ありません。ご協力に同意した後でも、途中で撤回し、中断することが可能です。また、ご協力者様は収集された個人の情報又はデータ等の開示を求める権利を有します。その際にも、不利益を被ることは一切ありません。

本研究により作成した論文は、表彰された場合に、法政大学 HP にて公表されることがあります。いずれも、ご協力者のお名前や個人が特定される情報は一切示されないようにして、プライバシーの保護には十分に配慮いたします。

ご回収後の同意書（本書類）や調査用紙は、研究終了後、個人情報漏洩しないように破棄いたします。本研究に関して、さらに詳しい情報や成果の情報を希望される場合、あるいは、本研究に関連して何らかの問題が生じた場合は、本研究の実施者までご連絡をお願いいたします。

研究実施者 法政大学〇〇学部〇〇学科〇年

学生証番号：〇〇〇〇〇

氏名：〇〇 〇〇

同意書

法政大学〇〇学部〇〇学科 〇年

氏名 〇〇 〇〇 殿

研究課題名「〇〇に関する研究」

上記研究課題の内容について、研究実施者より説明を受け、その内容を十分理解した上で、この研究に参加することに

同意する・同意しない

という意志を表明いたします。

氏名

同意年月日

年

月

日

※一度「同意」しても、インタビューの途中でその同意を撤回することは可能です。